

船橋市議会議員

立憲民主党

みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告



一人親世帯の支援

猛烈な暑さが続く夏ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 熱中症や新型コロナウイルス感染症の影響は大丈夫でしょうか？ コロナ禍の長期化により、私のところに寄せられる生活相談が増えています。もし、何かお困りの際は気軽にご連絡ください。

コロナ禍の長期化により心配される一つが、子どもの貧困の深刻化です。厚生労働省が2020年に公表した「2019年国民生活基礎調査」によると、「子どもの貧困率※1」は2019年時点で13.5%でした。また、大人一人で子どもを育てる世帯の貧困率は48.1%に上ります。しかし、この調査はコロナ禍前の調査であり現状はさらに厳しい数字になると容易に想像できます。

8月は夏休み期間、子どもたちにとっては楽しいもですが、生活困窮世帯の子どもたちにとっては厳しい現実があります。給食が無いいため十分な食事をとることが出来ない。体重が減る子どももいる。 (裏面へ続く)

※1 子どもの貧困率：計算上、一人当たりの可処分所得が平均の50%に満たない世帯の子どもの割合。2018年は127万円未満。

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(43歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目当選
- 特技：クロスカントリースキー
- 1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
- 2002年ソルレクシティ・パリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉：出来ることからコツコツとやる
- 家族：妻と特別支援学級に通う息子(小学生)、娘(幼稚園)の4人家族
- 趣味：子どもと散歩

(表面から)

栄養バランスが悪く子どもの成長や健康に影響する。子どもの食事を確保するため親の食事が不足するなどの実態があります。

このような背景から夏休み期間中、一人親家庭等のお子さんにお弁当を届ける支援事業に取り組んでいる「子ども食堂(※2)」が船橋市内にあります。このお弁当を届ける支援は、ただお弁当をお届けだけではありません。日中に一人でお留守番しているお子さんの安全確認や、困り事があるか?など相談できるよう声掛けも実施します。私も微力ながら配送ドライバーとして同行し、お手伝いをさせてもらっていますが、お届けするボランティアスタッフからは「最初のうち子どもたちは無表情でしたが、回数を重ねるうち笑顔に変わってきた」と話しており、子どもたちの安心につながっていると感じます。また、保護者からも助かっているとの声が寄せられていますので、お弁当宅配支援は一定の効果があると実感しています。私はこのような取り組みを含め、一人親家庭の支援が船橋市内で広がるように議員活動の一環として取り組んでまいります。

今回ボランティアに参加して、困っている子どもを助けたい応援したいと行動する方が多くいらっしやると感じました。市民の方が集まって運営している「子ども食堂」や「フードバンク※3」などはその最たるものです。船橋市はこうした団体や活動について理解を深め、積極的に協力・支援していくように求めてまいります。また、このお弁当宅配支援は子ども食堂が独自に資金を集めて行っています。安定的に幅広く支援を行っていくためには活動資金援助についても船橋市に求めてまいります。

※2 子ども食堂：

子ども食堂は、子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための社会活動。子ども食堂の形態は運営者次第で、様々な運営形態があり参加費(料金)、開催頻度、メニューも食堂ごとに違い、明確な定義があるわけではない。子育て支援や困窮者支援の活動につなげている食堂も多い。(一部 Wikipedia より引用)

※3 フードバンク：

フードバンクとは、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通出来なくなった食品を、企業や個人から寄附を受け生活困窮者などに配給する活動およびその活動を行う団体。

船橋市議会議員 三橋さぶろう

〒274-0063 船橋市習志野台2-4-13 ネスト12 101

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。